

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	27年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 企画担当課長
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト			
事務事業名	魚釣り施設のあり方検討	継続	維持	維持	連絡先	052-654-7906
目的	対象(誰・何を)	名古屋港における恒久的な魚釣り施設			事業期間	環境担当
	意図(どうい う状態にしたいか)	施設整備の可否を検討します。				
概要	名古屋港高潮防波堤の改良工事に伴い利用を停止した名古屋港海づり公園の暫定施設として新舞子マリンパーク魚釣り施設の供用を開始しましたが、利用者や所在市村等からの要望もあり、名古屋港内の魚釣り施設の整備可否の検討のため、既往資料や現地調査、有識者の助言を基に、環境面、安全面、整備・管理運営手法等を勘案し、名古屋港における魚釣り施設のあり方について検討します。					根拠法令等
28年度の実施予定	施設の実現の可能性に向けた庁内検討を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

28年度に実施した内容・結果	魚釣り施設のあり方検討については、事業費や安全性等の観点から施設の実現の可能性に向けた庁内検討を行い、現時点では、恒久施設としての実現性が最も高く、優先順位の高い箇所は、鍋田ふ頭東側と選定し、公表しました。					
コスト	単位	26年度	27年度	28年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	4,500	4,914	0	11,319	
人件費	千円	6,607	6,689	6,719	26,585	
合計	千円	11,107	11,603	6,719	37,904	

3 CHECK(検証)

指標名		26年度	27年度	28年度	最終目標	28	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
検討の進捗状況 (全5工程) (進行管理型)	目標	3	3	5	5(累計)		以下の検討項目のうち完了した工程数を合計します。 【①利用可能な水際線②現地調査地の選定③施設適地④施設設置可否検討⑤整備時期】	
	実績	3	3	5				
	事業進捗状況(28年度)			順調	やや遅れ	遅れ		
指標名		26年度	27年度	28年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
委員会の開催 (全3回) (進行管理型)	目標	3			3(累計)		魚釣り施設のあり方を検討する為に開催した委員会の回数を合計します。	
	実績	3						
	事業進捗状況(28年度)				-			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	予定どおり、施設の実現の可能性に向けた庁内検討を行いました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	29年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			事業費や安全性等の観点から検討を行い、現時点では、恒久施設として魚釣り施設整備の実現性が高く、優先順位の高い箇所は、鍋田ふ頭東側と選定したため。
課題	29年度以降の取組		
魚釣り施設を鍋田ふ頭東側に整備するには、関係者との調整等を行う必要があります。	魚釣り施設整備の実現に向けては、関係者との調整や今後の財政状況等を踏まえ、整備時期を判断していきます。		